

一足早い春探し、梅香る庭園へ

かわら版

小石川後楽園

第180号

令和8年
2月7日
発行

お得な年間パスポート

- 小石川後楽園用●
- 一般:1,200円
- 65歳以上:600円
- 都立9庭園用
- 一般:4,000円
- 65歳以上:2,000円

公式X(旧Twitter)やHPでは、園内の開花状況や見どころ、催事情報などを、随時ご案内中！

X(旧Twitter) @korakuenGarden



HP「公園へ行こう！」



9庭園Instagram



《上・サンシュユ》
《右・ニホンスイセン》



《上・マンサク》
《左・フクジュソウ》



日本庭園の“伝えたい想い”

日本庭園の中には、パンフレットに載せていない“想い”がたくさん込められています。今回は、その中のいくつかをご紹介します！

右の写真、棕櫚(シュロ)縄を十字に巻いた石は『関守石(せきもりいし)』と呼ばれ、“ここから先は、私たちにとって大事な場所ですので、立ち入りはご遠慮ください”の気持ちを込めて置かれます。



左は丸屋奥で撮影した写真。くねくねとした園路は、まるで迷路のよう。



園内には、こんな風に、緩い曲線がたくさん使われています。これは、散策されるみなさまの視線を軽く遮ることにより、“この先には、一体何があるんだろう？”と、ワクワク、ドキドキ、庭園をより楽しみいただくための仕掛けです。

また、園路上で、ほかよりも大きい平らな石を見つけたら、その石の上で足を止めてみてください。この大きな石は、“園内の美しい景色をご覧いただけるお奨めポイント”の印です。背筋を伸ばして大きくひとつ深呼吸！きっと、イイ気持ちになっていただけると思います。

ゆっくりと歩みを進め、日本庭園がみなさまに“伝えたい想い”も、感じてみませんか？

立春も過ぎ、春の足音も少しずつ大きくなっているようです。

園内では、マンサク(満作・万作)や、サンシュユ(山菜筴)、フクジュソウ(福寿草)など、春の光や暖かさを視覚からも感じさせてくれる黄色い花が咲き出すところになりました。見ごろを迎え、馥郁(ふいく)たる香りを漂わせるウメの花とご一緒に！

2月7日(土)～3月1日(日)開催『梅香る庭園へ』の内容は、チラシやホームページでご案内中です。一足早い春探しへ、どうぞお出かけください。

いくつかの最寄り駅

当園にも、いくつかの最寄り駅がありますので、ご案内します。

江戸時代の正式な庭園の巡り方をお楽しみいただく場合は、東門からのご入園をお奨めします。

東門へは、JR水道橋西口から徒歩5分、東京メトロ後楽園駅2番出口から徒歩8分です。

見ごろを迎える梅林や、催し物をご披露する松原は東門からご入園いただくと平らな園路で移動していただけます。

庭園散策の方はもちろん、涵徳亭や、ひいどろ茶寮のみをご利用の方(ご入園されない場合、入園料はいただきます)も、西門をご利用ください。

西門へは、都営大江戸線飯田橋駅C3出口から徒歩3分、JR飯田橋駅東口から徒歩8分、東京メトロ飯田橋駅A1、A3出口から徒歩8分、後楽園駅2番出口から徒歩8分です。

現在ご利用いただけるのは「東門」「西門」の2カ所です。門の前でお待ち合わせの際は「東門」、もしくは「西門」、どちらかでお決めいただくと、よりスムーズです。